

一粒の麦 場面九
荻野医院の開設



女性の患者を診る。
治療費のない貧しい人たちを連れて診てあげました。

吟子は 1885(明治 18) 年本郷三組町 (現文京区) に「産婦人科 荻野医院」の看板を掲げました。新聞・雑誌は、この日本最初の女医の誕生を報道しました。患者は日に日に増えて、やがて下谷西黒門町 (現台東区) の 2 階建ての大きな家に移りました。そこでも大盛況でした。

▶ 荻野医院



1886(明治 19) 年、吟子は基督教に入信しました。そして、同志社出身の基督教伝導に燃える一人の青年志方之善が荻野医院を訪れます。吟子と志方二人は意気投合し結婚しました。このとき、吟子 39 歳 之善 26 歳でした。1891(明治 24) 年に起きた岐阜県を震源とする濃尾大地震の孤児たちに荻野医院を提供しました。

パネルその七

資料提供 (株)現代ぷろだくしょん
写真提供 (株)トライストーン・エンタテイメント
引用元 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』facebook / Imgrum#荻野吟子photos&videos
若村麻由美 mayumi wakamura official

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

一粒の麦 場面十
基督教入信と社会運動



志方は孤児たちを引き取り、
荻野医院へ連れて行き、
吟子自ら孤児たちの世話を行いました。